

三菱電機 ビル空調
マルチエアコン
室内ユニット

形名

PLFY-P36CLMG9
PLFY-P45CLMG9
PLFY-P56CLMG9
PLFY-P71CLMG9
PLFY-P80CLMG9

取扱説明書

もくじ	ページ
安全のために必ず守ること	4
1. 各部の名称	8
2. 別売部品	13
3. ご使用の前に	14
4. 使用方法	17
5. お手入れ	24
6. 定期点検のお願い	28
7. 製品独自のお願い事項	30
8. 据付工事の確認と試運転	31
9. 仕様	32
10. 修理を依頼する前に	33
11. 法令関連の表示	35
12. 保証とアフターサービス	37
13. 環境関連の表示	38

- このたびは三菱電機製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 保証書は室外ユニットに添付しております。室外ユニットの保証書でセットでお買上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。
- 保証書は「お買上げ日（据付日または試運転完了日）・販売店名（工事店名）」などの記入を確かめて、販売店（工事店）からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保管してください。
- 添付別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
- お使いになる方が代わる場合には、本書と「据付工事説明書」および「保証書」をお渡してください。
- お客様ご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。


This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.


もくじ

	ページ
安全のために必ず守ること	4
1. 各部の名称	8
1-1. 各部のなまえとはたらき	8
1-1-1. 室内ユニット	8
1-1-2. 室外ユニット	9
1-1-3. リモコン (別売品)	10
2. 別売部品	13
3. ご使用の前に	14
3-1. 使用上のお願い	14
3-2. 各種運転について	15
4. 使用方法	17
4-1. 運転方法	17
4-1-1. 運転／停止と運転モード、室温調節	17
4-1-2. 風速調節	19
4-1-3. 自動運転、換気運転のしかた	19
4-1-4. その他の表示・点滅について	21
4-1-5. タイマー、スケジュール、 省エネ運転のしかた (MA スマートリモコンの場合)	22
4-2. その他の操作について	23
4-2-1. 長期間使用しないとき	23
5. お手入れ	24
6. 定期点検のお願い	28
7. 製品独自のお願い事項	30
7-1. 廃棄について	30
7-2. 移設時の据付場所について	30
8. 据付工事の確認と試運転	31
9. 仕様	32
10. 修理を依頼する前に	33
11. 法令関連の表示	35
11-1. 標準的な使用条件	35
11-2. 機器予防保全の目安	35
11-3. 消耗部品の点検周期目安	36
12. 保証とアフターサービス	37
13. 環境関連の表示	38

安全のために必ず守ること

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

 **警告** 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うおそれのあるもの

 **注意** 取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う、または物的損害が発生するおそれのあるもの

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

一般事項

警告

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しないこと。

- ◆使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。
- ◆法令違反のおそれあり。

封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。指定冷媒以外を封入した場合の不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。



禁止

以下の特殊な環境では使用しないこと。

- ◆油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところ

- ◆酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ

- ◆性能低下・腐食による冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・発煙・火災のおそれあり。



使用禁止

吹き出し風を身体に直接当てないこと。

- ◆体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



禁止

吹き出しの風が直接あたる所に燃焼器具を置かないこと。

- ◆燃焼器具が不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。



禁止

冷やし過ぎないこと。

- ◆体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



禁止

改造はしないこと。

- ◆冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

安全装置・保護装置の改造や設定変更をしないこと。


- ◆保護装置を改造して運転を行った場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- ◆設定値を変更して使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- ◆当社指定品以外のものを使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。



変更禁止

ユニットの据付・点検・修理をする周囲に子どもを近づけないこと。


- ◆ 工具などが落下すると、けがのおそれあり。



禁止

ユニットの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしないこと。


- ◆ 引火・火災・爆発のおそれあり。



禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。


- ◆ 変形・引火・火災・爆発のおそれあり。



禁止

粉塵が浮遊している場合は、ユニットを使用しないこと。


- ◆ 吸い込みによる故障・発煙のおそれあり。
- ◆ 健康障害のおそれあり。



禁止

ヒューズ交換時は、針金・銅線を使用しないこと。指定容量のヒューズを使用すること。


- ◆ 発火・火災のおそれあり。



禁止

お手入れのときは不安定な台に乗らないこと。


- ◆ 落下・転倒し、けがのおそれあり。



禁止

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。


- ◆ 冷媒は循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。



接触禁止

運転中および運転停止直後の電気部品に素手で触れないこと。


- ◆ 火傷・感電のおそれあり。



接触禁止

ユニットを水・液体で洗わないこと。


- ◆ ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

電気部品に水・液体・洗浄スプレー液をかけないこと。


- ◆ ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。


- ◆ 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

フィルター清浄・交換など、高所では足を踏み外さないように作業すること。


- ◆ 落下・転倒し、けがのおそれあり。



指示を
実行

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。


- ◆ けが・感電のおそれあり。
- ◆ 回転機器により、けがのおそれあり。



指示を
実行

薬品を散布する前に運転を停止し、ユニットにカバーを掛けること。


- ◆ 薬品がユニットにかかると、運転時にけがのおそれあり。
- ◆ 薬品がユニットにかかって損傷すると、けが・感電のおそれあり。



指示を
実行

換気をよくすること。


- ◆ 冷媒が漏れた場合、酸素欠乏のおそれあり。
- ◆ 冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。
- ◆ 燃焼器具を使用した場合、不完全燃焼により、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。



換気を
実行

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。


- ◆ お買い上げの販売店・お客様相談窓口に連絡すること。
- ◆ 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



指示を
実行

端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。


- ◆ ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を
実行

据付台が傷んでいないか定期的に点検すること。

- ◆ ユニットの落下によるけがのおそれあり。



指示を
実行

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。

- ◆ 充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。



指示を
実行

⚠ 注意

フィルターの清掃・交換などの作業時はユニットの真下にいないこと。

- ◆ フィルターの自重降下、落下によるけがのおそれあり。



禁止

空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れないこと。

- ◆ ファンによるけがのおそれあり。



禁止

先のとがった物で表示部・スイッチ・ボタンを押さないこと。

- ◆ 感電・故障のおそれあり。



使用禁止

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- ◆ 回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- ◆ 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- ◆ 高温部に触れると、火傷のおそれあり。



使用禁止

食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しないこと。

- ◆ 保存品が品質低下するおそれあり。



使用禁止

ユニットの下に食品を置かないこと。

- ◆ ほこり・異物の落下により品質低下するおそれあり。



禁止

吹き出しの風が直接あたる所に動植物を置かないこと。

- ◆ 悪影響のおそれあり。



禁止

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- ◆ 運転停止から5分以上待つこと。
- ◆ ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。



禁止

ぬれて困るものを下に置かないこと。

- ◆ ユニットからの露落ちにより、ぬれるおそれあり。



禁止

部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- ◆ けがのおそれあり。



接触禁止

フィルターを取り外す場合、保護具を身につけること。

- ◆ ほこりが目に入り、けがのおそれあり。



指示を
実行

保護具を身に付けて操作すること。

- ◆ 主電源を切っても数分間は充電された電気が残っている。触れると感電のおそれあり。



指示を
実行

電気部品を触る場合は、保護具を身に付けること。

- ◆ 高温部に触れると、火傷のおそれあり。
- ◆ 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。



指示を
実行

作業する場合は保護具を身に付けること。

- ◆ けがのおそれあり。



指示を
実行

フィルターの点検・清掃は専門業者がすること。

- ◆ けがのおそれあり。



指示を
実行

ユニットの据付・点検・修理をする前に周囲の安全を確認すること。

- ◆ パネルが落下すると、けがのおそれあり。



指示を
実行

薬品消毒実施後は、薬品のガスを換気により排出すること。その後ユニットを運転すること。

- ◆ ユニットに付着した薬品が飛散し、薬品を浴びると、けがのおそれあり。
- ◆ ユニットが吸い込むと腐食・変形による故障のおそれあり。



ユニット内の冷媒は回収すること。

- ◆ 冷媒は再利用するか、処理業者に依頼して廃棄すること。
- ◆ 大気に放出すると、環境破壊のおそれあり。



販売店または専門業者が定期的に点検すること。

- ◆ ユニットの内部にゴミ・ほこりがたまった場合、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。
- ◆ においが発生するおそれあり。



移設・修理をするときに

警告

改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- ◆ 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



分解・修理をした場合、部品を元通り取り付けること。

- ◆ 不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。



基板に手・工具で触れたり、ほこりを付着させたりしないこと。

- ◆ ショート・感電・故障・火災のおそれあり。



注意

点検・修理時は、配管支持部材・断熱材を確認し劣化したものは補修、交換すること。

- ◆ 冷媒漏れ・水漏れのおそれあり。



1. 各部の名称

1-1. 各部のなまえとはたらき

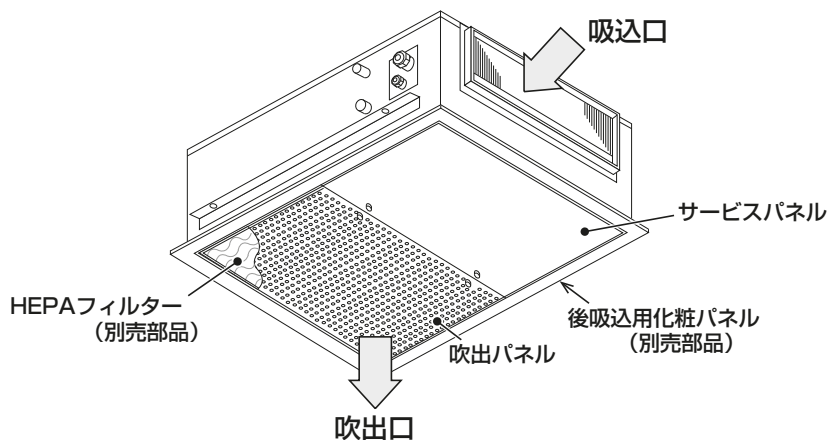
1-1-1. 室内ユニット

ユニットの形態により、装備している機能が異なります。

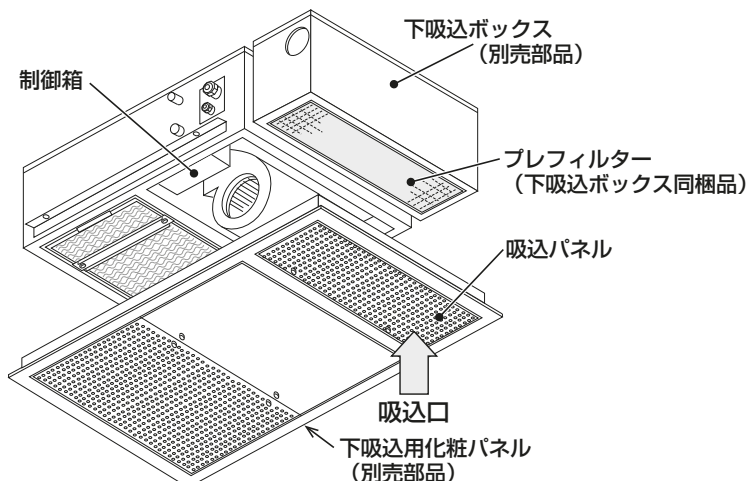
	PLFY-P36～80CLMG形
風速	2速
風速自動	—
上下風向調整	—
左右風向調整	—
フィルター	別売部品
フィルタークリーニングサイン積算時間	2500

- 吹出口 直径3mmのパンチング鋼板を使用して、吹出パネル全面から空気を吹出します。
- 吸入口 室内の空気を吸込みます。
- HEPAフィルター 集塵効率99.97%（DOP法）の多風量型フィルターです。
- 下吸込ボックス 天井吸込方式とする場合に、本体を合わせて使用します。
- プレフィルター 下吸込ボックス（別売部品）に標準組込のフィルターは、目に見える程度のほこりやゴミを去除するための簡易フィルターです。（お手入れの仕方は、「5. お手入れ」参照）
- サービスパネル 送風機やドレンパンなど、アンダーメンテが可能です。

[1] 本体



(1) 下吸込ボックス（別売部品）装置時

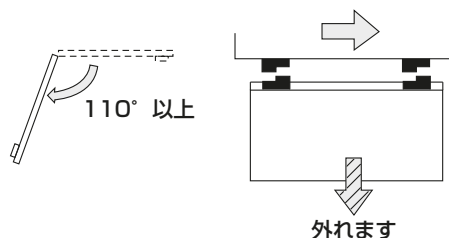


お願い

- 吹出口・吸込口を塞がないでください。
風の流れを妨げた場合、能力低下・故障のおそれがあります。

メモ

- 吹出パネル、サービスパネル、および吸込パネルの蝶番は、パネル閉時の水平状態から 110° 以上開くと、水平方向にスライドさせて取外すことができます。

**警告**

ユニットの据付・点検・修理をする周囲に子どもを近づけないこと。

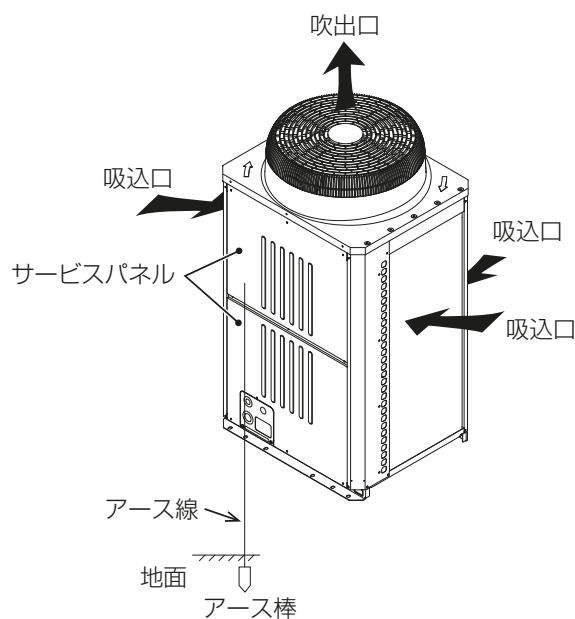
- 工具などが落下すると、けがのおそれあり。

**お願い**

- 据付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。
工具が適切でない場合、ユニット損傷のおそれがあります。

1-1-2. 室外ユニット

モデル名、馬力により仕様が異なりますので、詳細は室外ユニットに同梱の説明書を参照してください。

PUHY シリーズ他

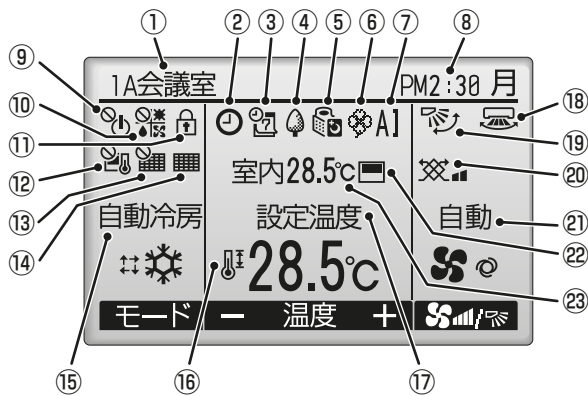
1-1-3. リモコン(別売品)

[1] MAスマートリモコン

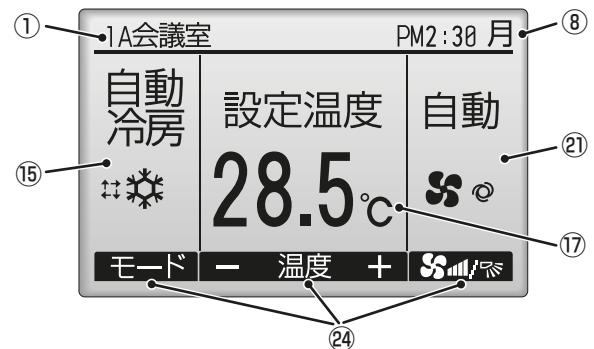
メイン画面の表示には「詳細画面」と「簡易画面」の2種類があります。初期設定は詳細画面表示となっています。本機種ではハイパワー運転、パワーシェア運転、ムーブアイ省エネ運転、CO₂排出量表示は使用できません。(説明のためすべての表示内容を示しています。)

(1) 表示部

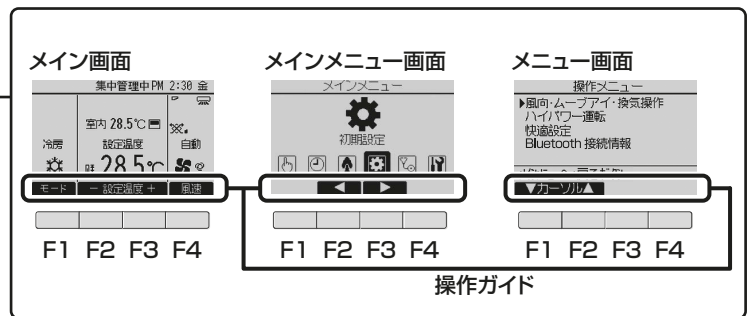
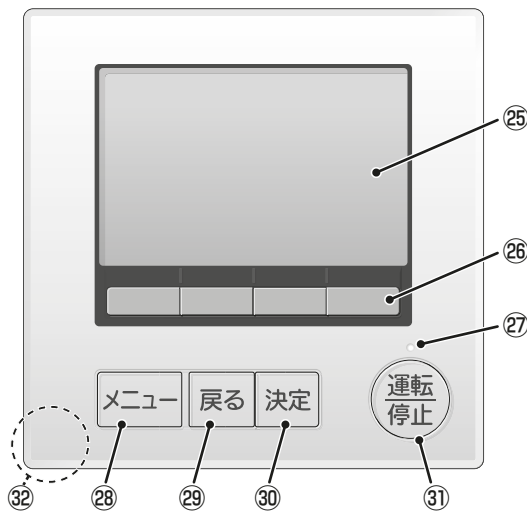
詳細画面(メイン画面)



簡易画面(メイン画面)



(2) 操作部



番号	表示/名称	説明
①	リモコン名	リモコンの名前を表示します。
②		オン/オフタイマー又は消忘れ防止タイマー設定が有効のときに表示します。
③		週間スケジュールタイマー設定が有効のときに表示します。
④		省エネ制御中に表示します。
⑤		室外サイレントモード制御中に表示します。
⑥		パワーシェア運転有効中に表示します。
⑦	AI	ムーブアイ mirA.I. 有効中に表示します。
		ムーブアイ省エネ運転中に表示します。
⑧	時刻	現在の時刻を表示します。
⑨		発停操作が集中管理中のときに表示します。

番号	表示/名称	説明
⑩		運転モード操作が集中管理中のときに表示します。
⑪		操作ロック設定が有効のときに表示します。
⑫		設定温度操作が集中管理中のときに表示します。
⑬		フィルターサインのリセット操作が集中管理中のときに表示します。
⑭		フィルターのお手入れ時期になると表示します。
⑮	運転モード	運転中の状態を表示します。
⑯		設定温度範囲制限設定が有効のときに表示します。
⑰	設定温度	設定温度を表示します。
⑱		設定したルーバーの状態を表示します。
⑲		設定した風向の状態を表示します。
⑳		設定した換気の状態を表示します。
㉑	風速	設定した風速の状態を表示します。
㉒		室内温度を検知するセンサー位置がリモコンのときに表示します。室内ユニットのときは を表示します。
㉓	室内温度	現在の室内温度を設定します。
㉔	ファンクション ボタン操作ガイド	ファンクションボタンの機能名を表示します。
㉕	液晶表示部 (バックライト付)	運転内容を表示します。 バックライト消灯中にボタン操作すると、バックライトが点灯します。 一定時間ボタン操作が行われないと自動的に消灯します。 バックライトの点灯時間は画面により異なります。
㉖	ファンクション ボタン	ファンクションボタンは操作する画面によって動作が変わります。 液晶表示下部の操作ガイドにしたがって操作してください。
	F1 ボタン	メイン画面：運転モードを切り替えます。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
	F2 ボタン	メイン画面：設定温度を下げます。 メインメニュー画面：カーソルが左に移動します。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
	F3 ボタン	メイン画面：設定温度を上げます。 メインメニュー画面：カーソルが右に移動します。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
	F4 ボタン	メイン画面：風速を切り替えます。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
㉗	運転ランプ	運転中、緑色に点灯します。立上げ時、異常時は点滅します。
㉘	メニューボタン	メインメニューを表示します。
㉙	戻るボタン	前の画面に戻ります。
㉚	決定ボタン	設定の決定をします。
㉛	運転/停止ボタン	1度押すと運転し、もう一度押すと停止します。
㉜		室温センサ内蔵位置

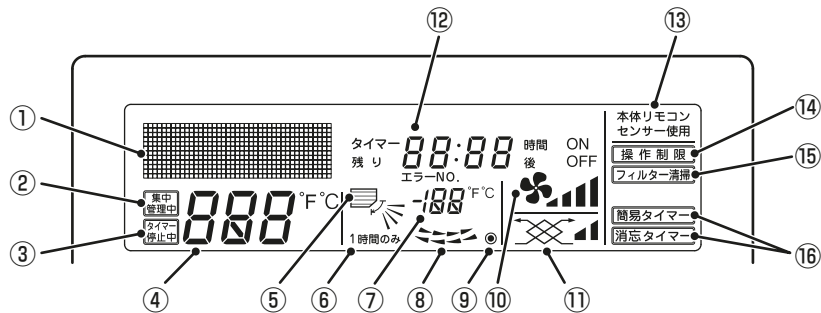
お知らせ

- ・ バックライトが消えている状態での最初のボタン操作は効きません。バックライトのみ点灯します。(運転/停止ボタンは除く)
- ・ 基本運転(運転/停止、運転モード切換、風量調節、温度設定)以外はメニュー画面からの設定となります。
- ・ 使用する場合は、リモコンに同梱されている取扱説明書を参照してください。

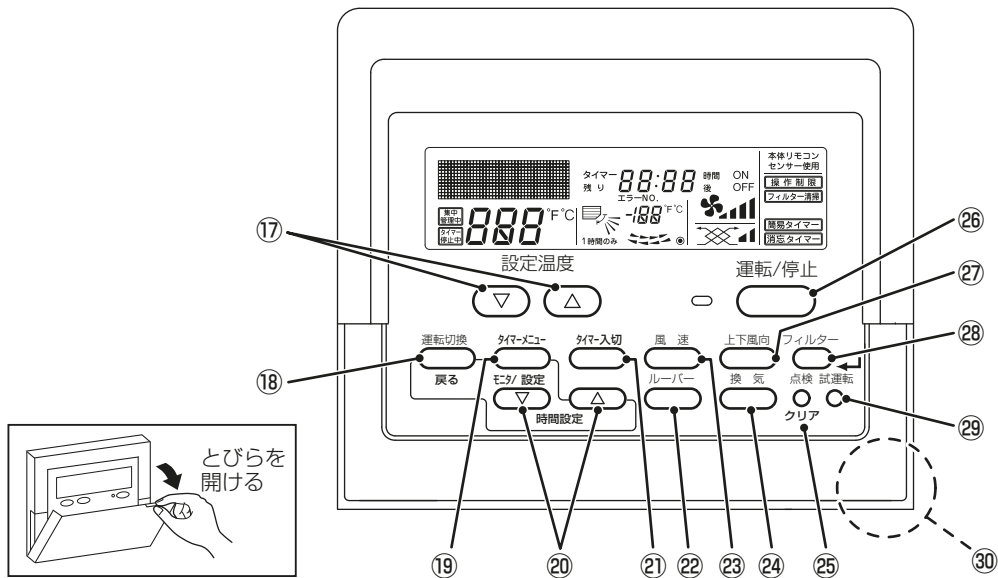
[2] MAスムーズリモコン







(説明のためすべての表示内容を示しています。)








(1) 表示部



(2) 操作部



番号	表示/名称	説明
①	操作内容表示	運転モード等を表示します。 ※他言語対応 室内ユニットにない機能のボタンを押したときに、該当する機能表示と同時に“無効ボタン”を3秒間点灯表示します。
②	 集中 管理中	集中コントローラー等で操作禁止されている場合に表示します。 制限される操作は以下のとおりです。(個々に制限される場合もあります) 運転/停止・運転モード・設定温度 ※氷蓄熱機種では、夜間蓄冷熱運転をしている場合にも表示します。
③	 タイマー 停止中	タイマーの運転状態を表示します。
④	設定温度	選択された設定温度を表示します。
⑤	 上下風向	吹出しの風向を  印で表示します。
⑥	1時間のみ	冷房およびドライ運転で弱風下向きにセットしたとき表示します。 (機種により異なります) 1時間経過しますと表示は消え、風向も切り替わります。
⑦	室温	運転中の吸込/室内温度を表示します。 表示範囲は8~39℃で、これを超える場合は、8℃または39℃で点滅します。
⑧	 ルーバー	シングルルーバーの作動を表示します。停止の場合は表示しません。
⑨		通電時、表示されます。

番号	表示/名称	説明
⑩	 風速	選択された風速を表示します。
⑪	 換気	換気運転時表示します。
⑫	タイマー実行時間	簡易タイマー、消忘タイマー運転時は、タイマー実行時間を表示します。
⑬	センサー使用	リモコンと室内ユニット、どちらかのセンサーを使用しているかを表示します。
⑭	操作制限	操作制限をしている場合、点灯表示します。
⑮	フィルター清掃	フィルターの清掃時期がくると表示します。
⑯	簡易タイマー 消忘タイマー	タイマーが設定されている場合、その機能を表示します。
⑰	設定温度ボタン	 下げる  上げる
⑱	運転切換(戻る)ボタン	
⑲	タイマーメニュー (モニター/設定)ボタン	
⑳	時間設定ボタン	 戻す  進める
㉑	タイマー入切ボタン	
㉒	ルーバーボタン	
㉓	風速ボタン	
㉔	換気ボタン	
㉕	点検(クリア)ボタン	
㉖	運転/停止ボタン	
㉗	上下風向ボタン	
㉘	フィルター()ボタン	
㉙	試運転ボタン	
㉚		室温センサ内蔵位置

お知らせ

- “PLEASE WAIT”表示(初期設定中) 電源を入れたときと停電から復帰したとき、約3分間表示します。
- 運転モードの点滅表示
同一の室外ユニットに接続された他の室内ユニットが、すでに異なる運転モードで運転をしている場合に表示します。他の室内ユニットの運転モードに合わせてください。
- “無効ボタン”表示
操作ボタンを押してもその機能が室内ユニットに装備されていない場合には“無効ボタン”と点灯表示が出ます。1台のリモコンで複数の室内ユニットを操作している場合、代表の室内ユニットが機能を装備していれば、表示されません。
- 室温表示
本体の室温センサーを使用時で複数台の室内ユニットを操作されている場合、リモコンには、代表室内ユニット(親機)の内容が表示されます。室温センサー位置は、“本体”と“リモコン”が選択でき、初期設定は、“本体”です。
- 使用する場合は、リモコンの取扱説明書を参照してください。

2. 別売部品

パッケージエアコンには、多様な使い方に対応していただけるように、専用の別売部品を用意しています。

室内ユニット用別売部品

- HEPA フィルター
- 下吸込用化粧パネル
- 後吸込用化粧パネル

上記以外にも多々別売部品があります。お買上げの販売店にお問い合わせください。

3. ご使用の前に

- お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- 本製品の据付工事は、販売店(工事店)が関連法規・資格に基づき実施しております。
- 据付工事完了後、「8. 据付工事の確認と試運転(31 ページ)」の事項をお客様ご自身でご確認ください。
- 販売店(工事店)が試運転を行う際、立ち会ってください。
- 運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店(工事店)から説明を受けてください。

3-1. 使用上のお願い

警告

吹出し風を身体に直接当てないこと。

- 体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



禁止

冷やし過ぎないこと。

- 体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



禁止

“ビル用マルチエアコン”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

1) 室内温度(室温)は最適にしてください。

- 冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
- 冷やし過ぎは電力のムダ使いにもなります。
たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。



2) 冷房時は熱の侵入を少なくしてください。

- 冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしてください。
- 出入口は必要なとき以外は開けないようにしてください。



3) 室内ユニットの吹出し風を長時間直接肌に当てないでください。

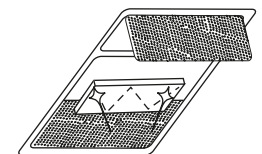
- 特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。室内ユニットの風を直接肌に当てないでください。



4) プレフィルターの清掃はこまめにしてください。

- プレフィルターの目詰まりは風の流れを少なくし、冷房・暖房効果を低下させます。さらに、そのまま放置しますと故障の原因になります。特に冷房・暖房シーズンのはじめには清掃してください。また、清掃期間の目安は、「5. お手入れ」を参照してください。

※ フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。



5) 中間期にはドライ運転をしてください。

- ・ムシムシすると感じる時は、空気中に含まれる水蒸気が多い状態です。湿度は温度や風との関係があり、快適と感じる湿度条件は夏で60～70%、冬では55～70%程度といわれています。
- ・ムシムシするとき、冷房運転では冷えすぎとを感じる時があります。ドライ運転を利用してください。



6) ときどき換気をしてください。

- ・長時間、閉め切った室内では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
- ・送風運転は、室内の空気を循環させるはたらきをします。
- ・冷房・ドライ・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。当社“ロスナイ換気扇”を利用しますとムダのない換気ができます。



3-2. 各種運転について

(1) ドライ運転について

- ・ビル用マルチエアコンではマイコン制御により、お好みの室温に合わせて冷やし過ぎを抑えた除湿運転（ドライ運転）を行います。
- ・室温18℃未満では、ドライ運転はできません。
- ・室内ファンは室内ユニットのマイコンで風速の切り替えが行われ、リモコンでは設定できません。
- ・運転モード

室温	圧縮機運転3分後		圧縮機運転時間 (分)	圧縮機停止時間 (分)
	温調信号	室温		
18℃以上	ON ※1	28℃以上	9	3
		26℃以上、28℃未満	7	3
24℃以上、26℃未満		5	3	
24℃未満		3	3	
	OFF ※2	無条件	3	10
18℃未満	圧縮機運転禁止			

※1 温調信号 ON …室温が設定温度より高い場合

※2 温調信号 OFF …室温が設定温度より低い場合

1) お好みの室温になるまで

室内温度の変化に合わせて圧縮機と室内ファンは連動して自動的に運転・停止を繰り返します。

2) お好みの温度になると

圧縮機・室内ファンとも停止します。

10分間停止が続くと湿度を低く保つため、圧縮機と室内ファンを3分間運転します。

(2) 暖房運転について

- ・暖房開始時に風が出ない：室内ファンは吹出し空気の温度上昇に合わせて、徐々に設定風速へ切り替わりません。（ホットスタートといいます。このときリモコンに“暖房準備中”が表示されます。）
- ・風速が設定どおりでない：室温が設定温度になると、風速は微風となります。
- ・運転を停止しても風が出る：運転停止後約1分間室内ユニット内の余熱を排熱するために、室内ファンが回ることがあります。

(3) 自動運転について

自動運転には、シングルオートモードとデュアルオートモードがあります（リモコン表示は、両モードとも「自動」です）。

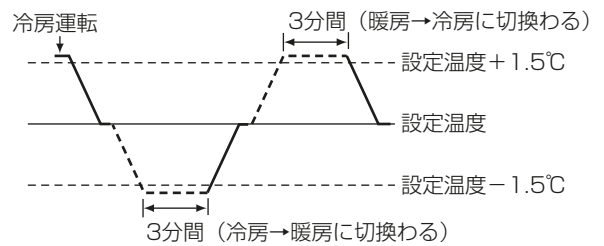
※ 室外ユニットや室内ユニットの機種により、自動機能がない場合があります。

• シングルオートモード

シングルオートモードでは、冷房・暖房の設定温度を共通設定とし、設定温度より室温が高いときは冷房運転を開始し、室温が低いときは暖房運転を開始します。

自動運転中に室温が変化し設定温度より 1.5℃以上高くなり、その状態が3分続くと冷房運転に切り替わります。

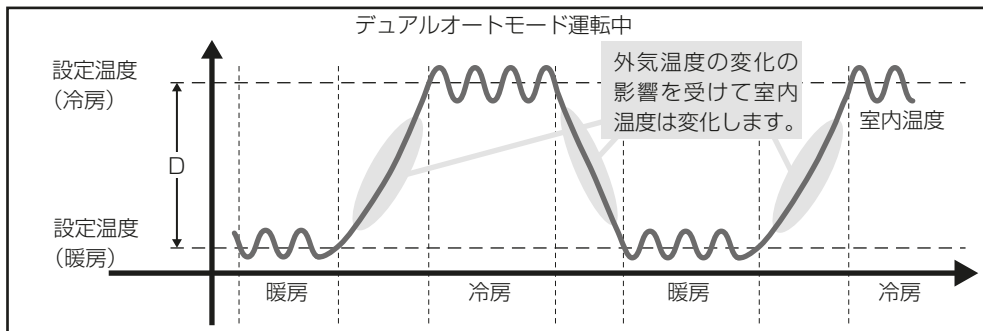
また、1.5℃以上低くなり、その状態が3分続くと暖房運転に切り替わります。



• デュアルオートモード

デュアルオートモードでは、2値（冷房・暖房）の温度を設定でき、デュアルオートモード運転中は室内温度により室内ユニットが自動的に冷房と暖房を切り替え、2つの設定温度内に室内温度を維持します。デュアルオートモードで設定された冷房と暖房の設定温度は冷房/ドライ、暖房モードそれぞれ設定温度の設定に反映されます。

下図はデュアルオートモードで動作中のユニットの動作パターンを示します。



※ 冷房設定温度と暖房設定温度の差 (D) の最小値は、接続する室内ユニットにより異なります。

※ リモコンや室内ユニットの機種により、デュアルオートモード機能がない場合があります。

(4) 換気連動運転について

- ユニットの運転を開始すると、自動的に換気装置も運転を開始し、室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行うものです。

(5) 送風運転について

- 送風運転は、お部屋の空気を循環させる働きをします。換気装置との連動運転を行うと、より効果的な換気ができます。

(6) 霜取運転（霜取中）について

- 外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かす運転を行っているときに表示します。霜取運転は約 10分程度（最大 15分）で終わります。
- 霜取運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。また、この間は上下風向ベーンを水平吹きに自動設定します。霜取運転を終了しなると暖房準備中へと移行します。

4. 使用方法

4-1. 運転方法

警告

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手
禁止

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。
- 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。

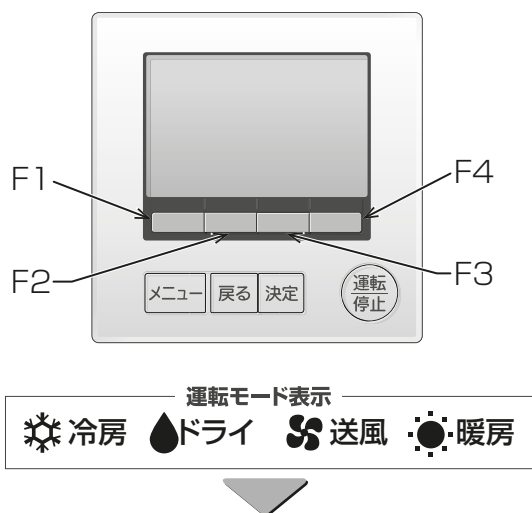


指示を
実行

お願い

- 運転を開始する12時間以上に電源を入れてください。
- 停電や電気工事、また外気温度が10℃以下で1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上運転を待ってください。
- ユニット運転期間中は電源を切らないでください。故障のおそれがあります。

4-1-1. 運転／停止と運転モード、室温調節



[1] 運転の開始、運転モードを選ぶとき

(1) MAスマートリモコンの場合

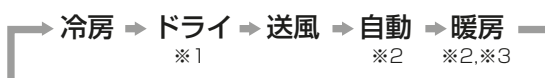
手順

1. ボタンを押す。

運転ランプと表示が点灯します。

2. ボタンを押す。

- ・1回押すごとに設定が切替わります。



※1 室温18℃未満では、ドライ運転はできません。また、機種によってドライ運転はできません。

※2 室外ユニットの機種により、自動、暖房機能がない場合があります。リモコンの機能選択で自動モード使用無し設定の場合は表示されません。くわしくは、MAスマートリモコンの据付工事説明書（設定編）を参照してください。


※3 冷房専用設定とした場合は、暖房の表示はされません。設定もできません。

※4 換気装置が連動されている場合、全ての運転モードで連動しています。

[2] 設定温度を変えたいとき

- 1回押すごとに設定温度をMAスマートリモコンの場合は0.5℃単位で変えられます。MAスマートリモコンでは設定温度単位を変更することが可能です。くわしくはMAスマートリモコンの取扱説明書を参照してください。
- 温度設定範囲は次の通りです。


冷房・ドライ運転	暖房運転	自動運転	送風・換気
19～30℃	17～28℃	19～28℃	設定できません

※ 接続室外ユニットによって、表とは設定温度範囲が異なることがあります。また、設定温度範囲制限が設定されている場合、可変できる温度範囲が狭くなります。(設定温度範囲制限中は  が表示されます。)範囲を超えて設定しようとした場合、“設定温度制限中” が点滅表示され、制限中であることが表示されます。くわしくは、リモコンの取扱説明書を参照してください。

(1) MAスマートリモコンの場合


1) 室温を下げたいとき

手順

1.  ボタンを押す。

2) 室温を上げたいとき

手順

1.  ボタンを押す。

[3] 運転を停止するとき

注意

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- ◆ 運転停止から5分以上待つこと。
- ◆ ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。



禁止

(1) MAスマートリモコンの場合

手順

1.  ボタンを押す。

1) 再運転時の動作内容

MAスマートリモコンで再運転した場合は、下表の内容で動作します。

	MAスマートリモコンで再運転した場合の動作内容
運転モード	前回の運転モード
設定温度	前回の設定温度
風速	前回の設定風速

4-1-2. 風速調節

[1] 風速を変えたいとき

(1) MAスマートリモコンの場合

手順

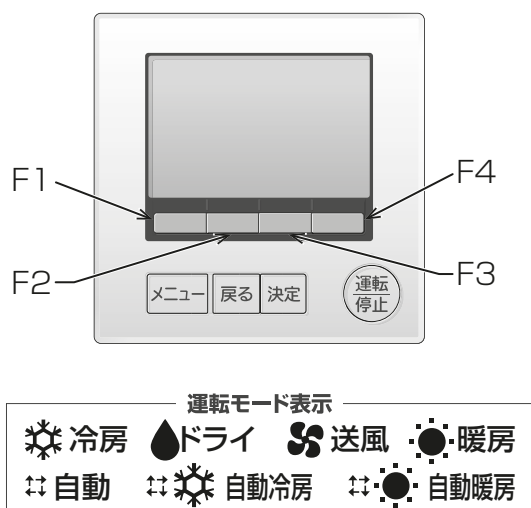
1. **F4** ボタンを押す。
 ・ 1回押すごとに設定が切り替わります。

風速	MAスマートリモコンの場合
2速	

お知らせ

- ・ このようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なります。
 - ・ “暖房準備中”・“暖房霜取中”表示のとき
 - ・ 暖房モードで設定温度より室温が高いとき
 - ・ 暖房運転直後（モード切替待機中）
 - ・ ドライモードのとき

4-1-3. 自動運転、換気運転のしかた



[1] 自動運転を行うとき

(1) MAスマートリモコンの場合

手順

1. **運転停止** ボタンを押す。
2. **F1** ボタンを押す。
表示を[自動]にする。

設定温度より室温が高いときは冷房運転を、室温が低いときは暖房運転を開始します。

(16ページ参照)


※ 運転モードが確定した後に、現在の運転モード [自動冷房]、[自動暖房] が表示されます。
 なお、リモコンの初期設定で、「自動冷暖表示：しない」に設定変更されている場合には、“冷房”、“暖房”は表示されません。([自動] の表示のみ) (リモコンの初期設定については、リモコンの据付工事説明書 (設定編) を参照してください。)

[2] 換気運転を行うとき

(1) MAスマートリモコンの場合

1) 室内ユニットと連動して換気装置を運転するとき

手順

1.  ボタンを押す。
 ・ 室内ユニットを運転したとき、自動的に換気装置も運転します。

2) 換気装置を単独で運転するとき

手順

1.  ボタンを押す。

2.  ボタンを押す。

3.  ボタンを押す。

4.  ボタンを押す。



3) 換気運転の風速を変えたいとき

手順

1. **F4** ボタンを押す。

お知らせ

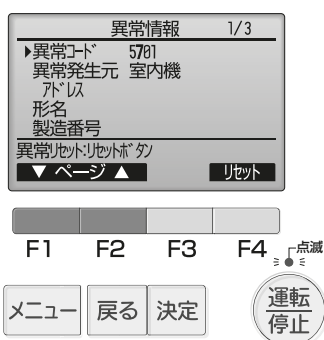
- ・ 室内ユニットと換気装置の機種により、換気装置のみを運転した場合でも室内ユニットのファンが動作する場合があります。

4-1-4. その他の表示・点滅について

[1] 「運転ランプ」が点滅し液晶画面に異常情報が表示されている場合

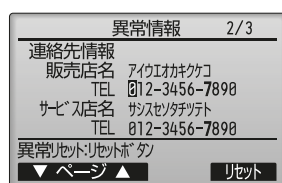
ユニットに異常が発生しているため、運転を継続できずに停止しています。

異常内容を確認の上、空調機の電源を切り、お買い上げの販売店（工事店・サービス店）にご連絡ください。

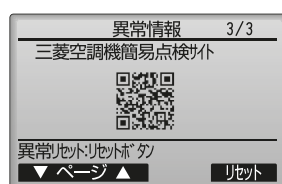


異常コード、異常発生元、M-NETアドレス、形名、製造番号を表示します。形名、製造番号はあらかじめ入力されている場合にのみ表示します。

F1 **F2** ボタンを押すと、次のページを表示します。



連絡先情報はあらかじめ入力されている場合にのみ表示します。



携帯電話点検コード検索サービスサイトの二次元バーコードを表示します。

[2] 「異常コード」のみが点滅している場合（運転ランプは点灯したまま）

ユニットは運転を継続していますが、異常が発生している可能性があります。

異常コードを確認の上、お買い上げの販売店（工事店）、またはサービス店にサービスを申しつけてください。



4-1-5. タイマー、スケジュール、省エネ運転のしかた(MA スマートリモコンの場合)

MA スマートリモコンから、タイマー運転、週間スケジュール運転、省エネ運転の設定ができます。
MA スマートリモコンのメニューボタンを押してメインメニュー画面を表示し、**F2** **F3** ボタンで設定したい運転を選択します。各運転の詳細設定方法は、リモコンの取扱説明書を確認してください。



[1] タイマー運転

(1) オン/オフタイマー

運転開始時刻と停止時刻が5分単位で設定できます。

(2) 消忘れ防止タイマー

運転を開始してから停止するまでの時間を10分単位で設定できます。設定時間は30分から240分の範囲で設定できます。

[2] 週間スケジュール運転

- 1 週間の運転開始時刻と停止時刻が設定できます。
- 1 日最大8パターンの設定ができます。

[3] 省エネ運転

(1) 設定温度自動復帰

設定時間後に、設定した温度に戻します。設定時間は10分単位で30分から120分の範囲で設定できます。

(2) 省エネ運転スケジュール

1 週間の省エネ運転開始時刻と停止時刻、能力セーブ値が設定できます。1 日最大4パターンの設定ができます。設定時刻は5分単位で設定できます。能力セーブ値は10%単位で90%から50%の範囲と0%で設定できます。

4-2. その他の操作について

4-2-1. 長期間使用しないとき

[1] 運転停止の方法

手順

1. 4～5時間、送風運転して室内ユニット内部を乾燥させる。
2. 室内ユニットの電源を切る。

[2] 再度使い始めるとき

下記手順1～4の点検を行い、異常のないことを確認後、電源を入れてください。

- ・ユニットの電源を「入」にしてから12時間以上経過後、運転を開始してください。

手順

1. プレフィルターを清掃して、取付ける。
 - ・プレフィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。
2. 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口がふさがれていないことを確認する。
3. アース線が外れていないことを確認する。
室内ユニットにも取付けてある場合があります。

お願い

- ・再度アース工事を行う場合は販売店(工事店・サービス店)に相談してください。
4. ドレンホースの折曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどが無いことを確認する。
 5. 運転開始の12時間以上前からユニットの電源を「入」にする。

5. お手入れ

警告

殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。

- ◆ 変形・引火・火災・爆発のおそれあり。



禁止

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。

- ◆ 冷媒は循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。



接触禁止

運転中および運転停止直後の電気部品に素手で触れないこと。

- ◆ 火傷・感電のおそれあり。



接触禁止

電気部品に水・液体・洗浄スプレー液をかけないこと。

- ◆ ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- ◆ 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

フィルター清浄・交換など高所作業時は足を踏み外さないように作業すること。

- ◆ 落下・転倒し、けがのおそれあり。



指示を
実行

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。

- ◆ けが・感電のおそれあり。
- ◆ 回転機器により、けがのおそれあり。



指示を
実行

薬品を散布する前に運転を停止し、ユニットにカバーを掛けること。

- ◆ 薬品がユニットにかかると、運転時にけがのおそれあり。
- ◆ 薬品がユニットにかかって損傷すると、けが・感電のおそれあり。



指示を
実行

端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。

- ◆ ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を
実行

注意

フィルターを取り外す場合、保護具を身につけること。

- ◆ ほこりが目に入り、けがのおそれあり。



指示を
実行

フィルターの点検・清掃は専門業者がすること。

- ◆ けがのおそれあり。



指示を
実行

[1] 室内ユニット、リモコンの清掃

- ・ やわらかい布でから拭きをしてください。
- ・ リモコン線を引っ張ったり、ねじったりしないでください。
また、リモコンケースは取外さないでください。
- ・ 手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を布等に少量ふくませて使用し、中性洗剤が残らないように拭き取ってください。
- ・ ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・酸性／アルカリ性洗剤などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。

[2] プレフィルターの清掃

下吸込ボックス（別売部品）には、吸込空気のプレフィルターがあります。

下図を参照して、プレフィルターを清掃してください。（プレフィルターはシーズン初めなどに清掃してください。）

お願い

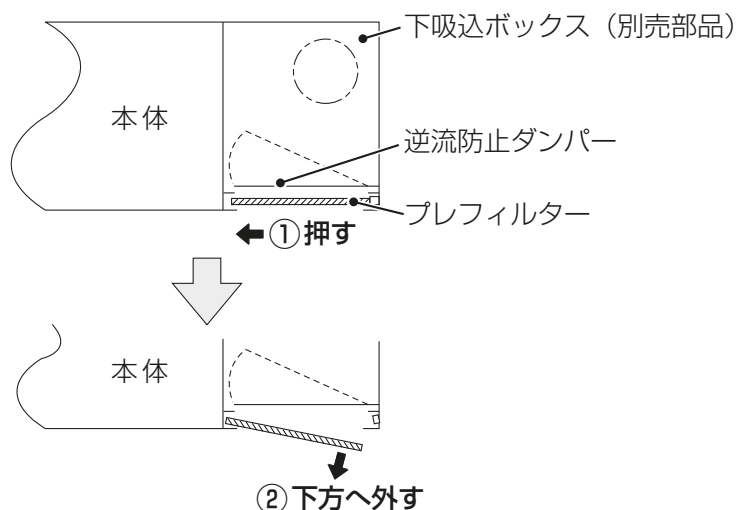
- ・プレフィルターを取外した状態で運転をしないでください。内部にゴミなどが詰まり、故障の原因となります。

(1) プレフィルターの清掃手順

手順

1. プレフィルターを取外す。
2. プレフィルターのほこりを掃除機で吸取るか、水洗いする。
 - ・汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かした、ぬるま湯ですすいでください。
 - ・熱い湯（約50℃以上）で洗わないでください。変形することがあります。
3. 水洗いしたあと、日陰でよく乾かす。
 - ・プレフィルターは直接日光や直接火にあてて乾かさなでください。
4. プレフィルターを元の状態に取付ける。（取外しの逆の手順）

プレフィルターの取外しかた



(2) プレフィルターの清掃時期

ワイヤードリモコンの場合は ■■■ 表示を点灯させて清掃時期をお知らせします。

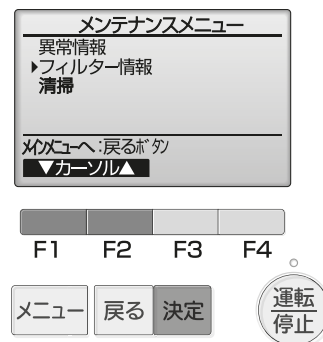
室内ユニット	運転時間
PLFY-P・CLMG形	2500



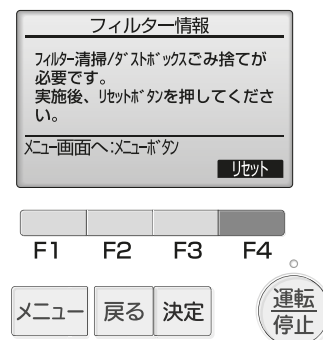
[3] 表示をリセットする

手順

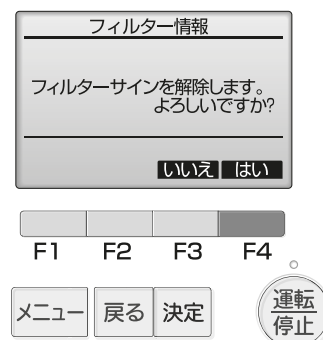
1. 『フィルター情報』を表示する。



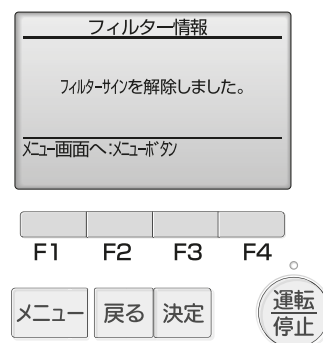
2. **F4** ボタンを押す。



3. **F4** ボタンを押す。



完了画面が表示されます。



[4] HEPA フィルターの交換

HEPA フィルターは、下表の前後差圧を目安にして、交換してください。お買上げの販売店でお求めください。
(終期圧損の目安は、初期圧損の約 1.5 倍です。)

形名		P36形	P45, 56形	P71, 80形
部品形名		PAC-KC70CCL	PAC-KC71CCL	PAC-KC73CCL
HEPA フィルター 前後差圧	初期	130Pa	120Pa	105Pa
	終期	195Pa	180Pa	160Pa

お願い

- フィルターの取付け、取外し作業の途中で手を離すなどの行為はしないでください。作業中の落下防止を行ってください。
- HEPA フィルターの圧損が増大すると、風量や冷暖房能力が減少します。
- HEPA フィルターの脱着作業はほこり・異物が飛散しないように行ってください。室内の清浄度低下のおそれがあります。

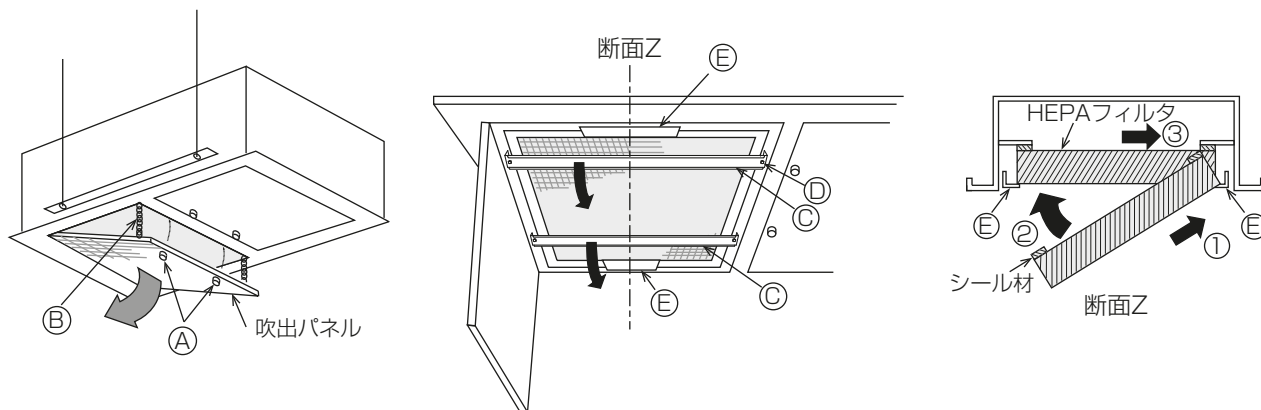
室内ユニットには、HEPA フィルター前後差圧計測のため、ピトー管取付穴が設けてあります。

[5] HEPA フィルターの脱着**【取付け方】****手順**

1. 吹出パネルのツマミねじ④(2か所)を緩めて、吹出パネルを下方に開く。
2. パネルの落下防止用チェーン⑤を取り外す。
3. HEPA フィルタの締付板③を六角ボルト(十字型ねじ山有)⑥(4か所)を緩めて、取り外しておく。
4. HEPA フィルタを下図(断面Z)に記載の順で取り付ける。
5. HEPA フィルタがフィルタ支え⑦に左右均等に載っていることを確認する。
6. 締付板③を元どおりに、六角ボルト⑥(4か所)で取り付ける。

お願い

- フィルタ支え⑦には、HEPA フィルタの枠が左右均等に載っていることを確認してから、締付板③を締め付けてください。
- 締付板③は、HEPA フィルタの枠が水平になるように六角ボルト⑥を緩みがないように締め付けてください。
- HEPA フィルタを外した状態で運転しないでください。
ユニット内部にごみが詰まり、故障のおそれがあります。

**【外し方】**

上記【取付け方】の逆の順序で取り外してください。
HEPA フィルタがフィルタ支え⑦に載っていることを確認し、作業をしてください。

6. 定期点検のお願い

ユニットを数シーズン使用すると、内部が汚れて性能が低下します。臭いが発生したり、ゴミやほこりなどによりドレンホースが詰り、吹出口からゴミ、ほこりの飛散、室内ユニットから水もれまたは、異常停止することがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約をおすすめします。

当社指定のサービス会社と保守契約(有料)いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検をいたします。万一の故障時も早期に発見し、適切な処理を行います。

点検の依頼・相談は、「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」(別紙)に連絡してください。

JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検(保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む)(いずれも有料)をお願いいたします。

定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置したときから廃棄するときまでの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理(管理委託を含む)をお願いいたします。

なお、詳細は下記のサイトを参照してください。*JRA: 一般社団法人 日本冷凍空調工業会

- JRA GL-14 について、<https://www.jraia.or.jp/info/gl-14/index.html>
- 冷媒フロン類取扱技術者制度について、http://www.jarac.or.jp/business/cfc_leak/

7. 製品独自のお願い事項

7-1. 廃棄について



警告

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。

- ◆ 充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。



指示を
実行



注意

ユニット内の冷媒は回収すること。

- ◆ 冷媒は再利用するか、処理業者に依頼して廃棄すること。
- ◆ 大気に放出すると、環境破壊のおそれあり。



指示を
実行

この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。

- ・ フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- ・ この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要ですので、専門の回収業者に依頼してください。

7-2. 移設時の据付場所について



警告

改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- ◆ 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

- ・ 増改築・引越しのため、製品を取外し、再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が別途必要になります。事前に、お買い上げの販売店(工事店)、または指定のサービス店、またはメーカー指定のお客様相談窓口(別紙)に相談してください。
- ・ 据付けや移設時に冷媒を追加充てんする場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。
- ・ ユニットの移設時は、販売店または専門業者に依頼し、据付場所は「据付工事説明書」に従って選定してください。

8. 据付工事の確認と試運転

- 本製品の据付工事は、販売店（工事店）が関連法規・資格に基づき実施しております。
- 販売店（工事店）が試運転を行う際、立ち会ってください。
- 運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店（工事店）から説明を受けてください。
- 据付工事が完了後、次の事項をお客様自身でも確認してください。

内容	チェック欄
• 「安全のために必ず守ること」について説明を受けましたか。	
• 運転手順、安全を確保するための正しい使い方についての説明を受けましたか。	
• 試運転に立ち会いましたか。	
• 据付工事説明書の据付工事のチェックリストがチェックされていることを確認しましたか。	

9. 仕様

項目		形名	PLFY-P36CLMG形	PLFY-P45CLMG形	PLFY-P56CLMG形
電源			単相 200V 50/60Hz		
冷房能力	(kW)		3.6	4.5	5.6
暖房能力	(kW)		4.0	5.0	6.3
外形寸法	高さ	(mm)	本体 460 / パネル 35		
	幅	(mm)	本体 840 / パネル 960	本体 995 / パネル 1115	
	奥行	(mm)	本体 1300 / パネル 1420 (本体 1700 / パネル 1820)		
風量					
強-弱	(m ³ /min)		18-15	20-17	
騒音値<PWL>	(A特性)				
強-弱	(dB)		58-56	59-58	
製品質量					
本体/パネル	(kg)		92/18 (105/25)	98/22 (114/31)	

項目		形名	PLFY-P71CLMG形	PLFY-P80CLMG形
電源			単相 200V 50/60Hz	
冷房能力	(kW)		7.1	8.0
暖房能力	(kW)		8.0	9.0
外形寸法	高さ	(mm)	本体 460 / パネル 35	
	幅	(mm)	本体 1300 / パネル 1420	
	奥行	(mm)	本体 1300 / パネル 1420 (本体 1700 / パネル 1820)	
風量				
強-弱	(m ³ /min)		24-20	
騒音値<PWL>	(A特性)			
強-弱	(dB)		61-59	62-59
製品質量				
本体/パネル	(kg)		111/28 (131/39)	

- ・ 奥行き寸法の()内は、下吸込ボックス(別売部品)装着時の値です。
- ・ 上記仕様値は、P36～56形は機外静圧38Pa時、P71, 80形は機外静圧28Pa時の値です。
- ・ 製品質量の()内は、(下吸込ボックス装着時の本体質量/下吸込用化粧パネル)の値です。
- ・ 製品質量は、HEPAフィルター(別売部品)の質量を含んでおりません。

10. 修理を依頼する前に

- 以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときはご使用を中止し、配線用遮断器(ブレーカー)を切(OFF)にしてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

現象	原因の確認	処置方法
よく冷えない。 よく暖まらない。	フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下している。	フィルターの清掃をしてください。
	設定温度が高くまたは低くなっている。	温度調節を確認して、設定温度を調節してください。
	室内ユニットの吹き出し口・吸込み口が塞がれている。	室内ユニット周囲空間を広く開けてください。
	窓やドアが開いている。	窓やドアを閉めてください。
暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。	暖かな風をおとどけするため準備中です。	そのまま待ってください。
暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。	外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きまます。この霜を溶かしています。	そのまま約10分ほど待ってください。
水の流れるような音やときどき“ブシュ”と音がする。	ユニット内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切替わるときの音です。異常ではありません。	もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店に相談してください。
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。異常ではありません。	もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店に相談してください。
部屋がにおう。	室内ユニットが壁やじゅうたん、家具から発生するガス、または衣類などにしみ込んだにおいを吸込んで、風を吹出すためです。	—
室内ユニットより白い霧状の水蒸気が出る。	室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。異常ではありません。	—
	霜取運転時、冷気が下りてきて霧状に見えることがあります。	—
室外ユニットより水・水蒸気が出る。	冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。	—
	暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。	—
	霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気が出る場合があります。	—
リモコンの運転表示が点灯しない。	室内ユニットの配線用遮断器(ブレーカー)が切(OFF)になっています。	配線用遮断器(ブレーカー)を入(ON)にしてください。
[運転・停止] ボタンを押したのに運転しない。 点灯したリモコンの運転表示が消える。	室内ユニットの配線用遮断器(ブレーカー)が切(OFF)になっています。	配線用遮断器(ブレーカー)を入(ON)にしてください。
リモコン表示部に“集中管理中”の表示が出ている。	“集中管理中”の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止が禁止となっています。	—
再運転のために停止後すぐに [運転・停止] ボタンを押したが、すぐに運転を再開しない。	ユニットを保護するため、マイコンの指示で止まっています。	再運転をした場合は、運転するまで約3分間待ってください。
[運転・停止] ボタンを押さないのに、勝手に動き出した。	入タイマー運転をしている。	[運転・停止] ボタンを押して停止してください。
	遠方コントロールが接続されている。	運転を指示したところへ連絡・確認してください。
	“集中管理中”の表示が点灯している。	運転を指示したところへ連絡・確認してください。
	停電自動復帰が設定されている。	[運転・停止] ボタンを押して停止してください。
[運転・停止] ボタンを押さないのに、勝手に停止した。	切タイマー運転をしている。	[運転・停止] ボタンを押して運転を再開してください。
	遠方コントロールが接続されている。	停止を指示したところへ連絡・確認してください。
	“集中管理中”の表示が点灯している。	停止を指示したところへ連絡・確認してください。
リモコンのタイマー運転がセットできない。	タイマー設定が無効となっている。 タイマー設定がセット可能ときは、 [簡易タイマー] 、 [消忘タイマー] のどちらかが表示されています。	—

10. 修理を依頼する前に

現象	原因の確認	処置方法
リモコンに“PLEASE WAIT”の表示が出る。	初期設定(約3分)を行っています。	そのままお待ちください。
リモコンにエラーコードが表示される。	保護機能が作動してユニットを保護しています。	自分では絶対に修理しないでください。 ユニットの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。
排水音やモータの回転音がある。	冷房運転停止時に、停止後3分間ドレンアップメカを運転してから停止します。	3分間お待ちください。
	運転を停止中でも他の室内ユニットが冷房運転している場合や、加湿器を使用している場合、ドレン水が発生します。ドレン水が溜まるとドレンアップメカを運転し、排水を行います。	—
暖房サーモOFF時および送風運転時に断続的に温風が出る。	他の室内ユニットが暖房運転をしている場合、システムの安定性を保つために、制御弁をときどき開閉します。	そのままお待ちください。 しばらくすると止まります。

11. 法令関連の表示

11-1. 標準的な使用条件

- 使用温度の範囲から外れたところで使用しますと、機器が異常停止したり、故障の原因となります。

		室内	天井内	室外
冷房・ドライ	乾球温度	—	～30℃	-5℃～43℃
	湿球温度	15℃～24℃	～80% (相対湿度)	—
暖房	乾球温度	15℃～28℃	—	—
	湿球温度	—	—	-20℃～15.5℃
自動	乾球温度	冷房・ドライ/暖房と同じ		-5℃～20℃
	湿球温度			-5℃～15.5℃
送風・換気	乾球温度	—	—	—

※1 床置形などの露出タイプは除く。

- 室内外共に使用可能な湿度の目安は、相対湿度 30～80%です。
- 室外ユニットの使用温度範囲は室外ユニットにより上表と異なることがあります。各室外ユニットの使用温度範囲はカタログ・仕様書等で確認してください。
- 自動運転の運転可能範囲外のサーモ ON 時、送風運転になる場合があります。

以下のような場合には経年劣化を促進させ、設計標準使用期間よりも早期に運転上支障を生じるおそれがあります。

- 製品の使用条件または使用頻度に係る実際の数値が算定の根拠となった数値よりも高い場合
- 目的外の用途に使用された場合
- 標準的な使用環境と異なる環境で使用された場合

11-2. 機器予防保全の目安

保証期間を示しているものではありません。

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間
モーター (ファン、ルーバー、ドレンポンプ用など)		20,000時間
ベアリング		15,000時間
電子基板類		25,000時間
熱交換器		5年
膨張弁		20,000時間
バルブ (電磁弁、四方弁など)		20,000時間
センサー (サーミスター、圧力センサーなど)		5年
ドレンパン		8年

- 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
- この保全周期は、製品を長く安心して使用するために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計 (保守点検費用の予算化など) のために役立ててください。また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
- 保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時に確認してください。

上表は次の使用条件が前提となります。

- 頻繁な発停のない、通常の使用状態であること。
(機種によりこととなりますが、通常の使用における発停の回数は、6回/時間以下を目安としています。)
- 製品の運転時間は、10時間/日、2500時間/年と仮定しています。(氷蓄熱など夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。)

また、下記の項目に適合するときには、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。

- ・ 温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所で使用する場合。
- ・ 電源変動（電圧、周波数、波形歪みなど）が大きい場所で使用する場合（許容範囲外での使用はできません。）
- ・ 振動、衝撃が多い場所に設置して、使用する場合。
- ・ 塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気を使用する場合。
- ・ 頻繁な発停のある場所、運転時間の長い場所。（24時間空調など）

11-3. 消耗部品の点検周期目安

保証期間を示しているものではありません。

主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年
高性能フィルター		1年
平滑コンデンサー		10年
ヒューズ		10年
クランクケースヒーター		8年

- ・ 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
- ・ この保全周期は、製品を長く安心して使用するために、交換行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のために役立ててください。
- ・ 保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時に確認してください。

12. 保証とアフターサービス

■ 保証書(別添)

- 保証書は室外ユニットに添付しております。室外ユニットの保証書でセットでお買い上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日(据付日または試運転完了日)・販売店名(工事店名)」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。保証書は内容をよくお読みになったあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日(据付日または試運転完了日)から1年間です

- 保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 製品の故障もしくは不具合より発生した、冷却温度上昇による健康障害や食品劣化、水漏れ等による家財破損などの付随的損害の責については、ご容赦ください。

■ 補修用性能部品の保有期間

- 当社は、このパッケージエアコンの補修用性能部品を製造打切り後9年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買い上げの販売店か「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」(別紙)にご相談ください。

■ 修理を依頼されるときは(出張修理)

- 「修理を依頼する前に」(33ページ)にしたがってお調べください。
- なお、不具合があるときは、ご使用を中止し必ず配線用遮断器(ブレーカー)を切(OFF)にしてから、お買い上げの販売店(工事店・サービス店)にご連絡ください。

- 保証期間中は
保証書の規定にしたがって、販売店(工事店・サービス店)が修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けません。
- 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。料金などについては販売店にご相談ください。点検・診断のみでも有料になることがあります。ただし、補修用性能部品の保有期間が過ぎている場合は、修理できないことがあります。
- 修理料金は
技術料+部品代+出張料などで構成されています。機器の接続・機器の調整・取り扱い方法の説明なども修理料金に含まれます。
 - ・ 技術料…製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
 - ・ 部品代…修理に使用した部品代金です。
 - ・ 出張料…製品のある場所へ技術員を派遣する費用(出張料)や有料駐車場の費用(駐車料)を別途いただく場合があります。

● ご連絡いただきたい内容

- 品名 三菱パッケージエアコン
- 形名 室外ユニットは、保証書に記入してあります。
室内ユニットは、室内製品銘板に記入してあります。
- お買い上げ日 年 月 日
- 故障の状況 (できるだけ具体的に、リモコンのエラー表示番号なども)
- ご住所 (付近の目印なども)
- お名前・電話番号・訪問希望日

■ この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

● お問合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

- お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
- 上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容に記録を残すことがあります。
- あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - 法令等の定める規定に基づく場合。
- 個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

13. 環境関連の表示

[1] 再資源化について

このユニットは、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
このユニットは、ご使用終了時に再資源化の一助として製品本体を材質別に容易に分解できる構造になっています。

[2] フロン排出抑制法

ユニットを廃棄されるときは、フロン排出抑制法で冷媒の回収が定められています。お買い上げの販売店(工事店)、またはメーカー指定のサービス店、もしくはお客様相談窓口にご相談してください。

この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。



室内ユニットおよび室外ユニットに表示されている左記のシンボルマークは、パッケージエアコンに温暖化ガス(フロン類)が封入されていることを確認していただくための表示です。

この製品はフロン排出抑制法の第一種特定製品です。廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第一種フロン類回収業者にフロン類の回収を依頼してください。

室内ユニットにはフロン類の種類・GWP(地球温暖化係数)が表示されています。システム全体のフロン類の数量は室外ユニットに表示されています。

- ・ フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- ・ この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
- ・ 冷媒の種類および数量並びにGWP(地球温暖化係数)は、室外ユニットに記載されています。
- ・ 冷媒を追加充てんした場合やサービスで冷媒を入れ替えた場合には室外ユニットの<冷媒量記入のお願い>の記入欄に必要事項を記入してください。

MEMO

愛情点検

●長年ご使用のパッケージエアコンの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 運転音が異常に大きくなる。
- 室内ユニットから水がもれる。
- 電源が頻繁に落ちる。
- その他の異常・故障がある。

ご使用
中止

事故防止のため、配線用遮断器(ブレーカー)を切(OFF)にし、販売店に点検・修理をご相談ください。

便利メモ

お買上げ販売店名

電話番号

ご不明な点がございましたらお客様相談窓口（別紙）にお問い合わせください。

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)

0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)

三菱電機株式会社

本社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)
冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

2022年7月作成

WT09962X01